

日本神経精神薬理学会第42回理事会(2008年度)議事録

日時: 2008年9月30日(火)14:00~16:00

場所: 品川プリンスホテルメインタワー3階小会議室「しゃくなげ・ラベンダー」(東京都)

出席者: 樋口輝彦理事長、大熊誠太郎、小山司、齋藤利和、鈴木勉、武田弘志、
武田雅俊、鍋島俊隆、西川徹、松田敏夫、山脇成人、油井邦雄、吉岡充弘、
米田幸雄(以上理事)

議事:

・報告事項
議事録の承認

1. 第37回年会収支報告(吉岡理事)

吉岡理事より、第37回年会の収支について報告された。

2. 第38回年会準備状況報告(山脇会長)

山脇会長より本年会開催に関する概要が報告された。

本年度は第18回日本臨床精神神経薬理学会と合同であり、関係を深め、そのメリットを生かせるようプログラム策定に配慮したことなどが報告された。

また、今回の大きな特徴として、専門薬剤師制度(精神科専門薬剤師部門)に絡むセミナーやシンポジウム等が企画されていることが報告された。

3. 各種委員会報告

a. 総務委員会(米田委員長)

米田委員長より、以下の通り会員報告が説明された。

会員数:1,057名(2008年8月31日現在)

内訳 名誉会員 8名

評議員 178名

正会員 848名

賛助会員 23社

新入会 88名

退会 本人申出 60名

逝去 1名

物故者 田代 千秋 2007/10/20 一般会員

また、新評議員・新名誉会員につき審議事項がある旨報告された。

b. 編集委員会(鈴木理事)

鈴木理事より、雑誌刊行状況、依頼状況、査読状況につき以下の通り報告された。

1) 刊行状況 28巻(2008年)総説12、ミニレビュー9、原著論文2を掲載。

2) 依頼状況 依頼論文9編。

3) 査読状況 総説0、原著論文2、ミニレビュー1 計3編の審査中。

なお、新しい依頼と企画については今回の編集委員会で検討する旨が報告された。

また、山脇理事より、日本臨床精神神経薬理学会において、両学会の統合も視野に入れつつ、ペーパーベースでは費用の問題などがあるため、英文のオンラインジャーナルの発行に向

けての取り組みを両学会で検討してはどうか、という提案がなされている旨が報告された。

c. 財務委員会(大熊委員長)

2007 年度決算・2008 年度予算は審議事項とされた。

d. 国際学術委員会(山脇委員長)

山脇委員長より、アジア神経精神薬理会議(AsCNP)についての経緯が報告された。

3月22日に開催された第1回日本臨床精神神経薬理学会(JSCNP)・日本神経精神薬理学会(JSNP)合同委員会において、AsCNPの組織委員会について、日本からはJSNP・JSCNP双方より3名ずつ合計6名を推挙することとなったことが報告された。

具体的人選は以下の通り。

樋口 輝彦 (JSNP 理事長)

兼子 直 (JSCNP 理事長)

山脇 成人 (JSNP 今期大会長)

石郷岡 純 (JSCNP 今期大会長)

米田 幸雄 (JSNP 次期大会長)

大森 哲郎 (JSCNP 次期大会長)

e. 学術賞選考委員会(齋藤委員長)

前回理事会において、本年度受賞者について次の2名が決定したことが報告された。

・非臨床系

北山 友也(広島大学大学院医歯薬学総合研究科病態探究医科学講座歯科薬理学)

対象論文:Assessing an Eating Disorder Induced by 6-OHDA and the Possibility of Nerve Regeneration Therapy by Transplantation of Neural Progenitor Cells in Rats (日本神経精神薬理学雑誌,第27巻3号,p109-116,2007年)

・臨床系

山田 典子(愛媛大学大学院医学系研究科健康科学研究室)

受賞対象論文:判別分析による若年女性の冷え性を識別する指標の選択:冷え性者の身体面及び精神面の特性(日本神経精神薬理学雑誌,第27巻5/6号,p191-199,2007年)

なお、授賞式および受賞講演について、以下の日程で行われることが確認された。

< 学術賞授与式 >

日時:2008年10月2日(木) 18:30~20:00の懇親会時

会場:品川プリンスホテル アネックスタワー プリンスホール 5F
「大山・石鎚・霧島」

< 受賞講演 >

日時:2008年10月3日(金) 11:00~11:30

会場:品川プリンスホテル アネックスタワー プリンスホール 5F
第3会場「大雪・岩木」

f. 長期計画委員会(尾崎委員長)

尾崎委員長は欠席であり、報告事項は特になかった。

g. 広報委員会(油井委員長)

油井委員長より本学会ホームページ上に「トピックス」と「ここが知りたい」のページを設け、評議員

に協力いただき、有用な情報を掲載できたことが報告された。

その他、研究助成に関する情報に関しては、十分にとり扱うことが出来なかったため、次期広報委員長への引継ぎ事項としたいとのことだった。

h. 研究推進委員会(西川委員長)

西川委員長より、以下の通り提案があった。

1) 精神疾患研究の評価について

精神疾患研究に対する評価が低く、研究費の拡大のためにも領域全体で働きかけていく必要がある。具体的には、基礎的な学会も含め関係学会でワーキンググループなどを設立して横断的に協力してはどうか。

2) 研究予算に関して

薬理は精神疾患領域においては重要な切り口であり、当学会が発言力をもてるような体制を理事長を中心に作っていただきたい。

i. 倫理委員会(亀井委員長)

亀井委員長は欠席であり、報告事項は特になかった。

4. 第 39 回年会準備状況報告(米田次期会長)

米田次期会長より以下の通り年会準備状況について報告された。

日時： 2009 年 11 月 12 日(木)～15 日(日)

会場： 京都国際会館(京都府)

会長： 米田 幸雄(金沢大学大学院自然科学研究科薬物学研究室)

第 19 回日本臨床精神神経薬理学会年会(会長:大森 哲郎)および第 1 回 AsCNP(会長:山脇 成人)と共催

5. その他

本年度の評議員会において理事の選挙が行われるにあたり、大熊理事と齋藤理事が立会人に選任された。

. 審議事項

1. 2007 年度収支決算、2008 年度中間報告、および 2008 年度予算の件(大熊委員長)

1) 2007 年度収支決算

大熊財務委員長より、2007 年度収支決算書について報告された。

収入の部に関し、一般会員の会費納入率が 80%と低いことが指摘され、今後、財務委員会にて一般会員の会費納入率向上に努めることとなった。

2) 監査報告書

監事 2 名による監査の結果、収支の記載が適正であると認められていることが確認された。

3) 2008 年度収支予算書

大熊財務委員長より 2008 年度予算について報告され、承認された。

2. 次々期会長の選出の件

兼子直評議員、曾良一郎理事、沼知陽太郎評議員、油井邦雄理事が推薦され、投票により曾良一郎理事が選出された。

なお、JSCNP の次々期会長は大谷浩一(山形大学)に決定している。

3. 新評議員推薦の件

米田総務委員長より、1名の推薦があることが報告され、検討の結果、承認することとなった。

4. 新名誉会員推戴の件

米田総務委員長より名誉会員推戴候補者が提示され、検討の結果、全員承認された。

加藤伸勝	亀山 勉	假屋哲彦	栗山欣弥
小林雅文	融 道男	中澤恒幸	福田英臣
福田健夫	三浦貞則	村崎光邦	森 温理
山下 格	渡辺昌祐	(敬称略)	

また、名誉会員推薦細則では業績目録等の提出を要件としているが、今後をご本人の手を煩わせないような措置をとることとなった。

5. 新入会希望者承認の件

米田総務委員長より、42 名の新入会者リストが提示され、問題なく承認された。

以上